

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	当院における胃静脈瘤破裂に対する内視鏡治療症例とballoon occluded retrograde transvenous obliteration(BRTO)症例の後方視的検討			
2. 対象患者	以下の期間において当院で胃静脈瘤に対して内視鏡あるいはBRTOの治療を受けた患者様			
3. 対象となる期間	平成20年 1月 1日 ~ 令和2年 10月 31日			
4. 実施診療科等	消化器内科、血液内科、膠原病内科			
5. 研究責任者	氏名	五十嵐 昌平	所属	消化器内科、血液内科、膠原病内科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	肝硬変など門脈圧亢進により生じる胃静脈瘤に対する治療は、内視鏡治療やBRTO(バルーン下逆行性経静脈的塞栓術)があります。吐血などの緊急で止血しなければならない患者さんにはこれまで内視鏡を使った止血をしておりましたが、近年当院でも緊急の症例にBRTOが施行される場合が増えております。しかし、両者の治療成績や臨床的特徴などについてまだ十分に検討されていない部分も多く、胃静脈瘤破裂に対して、内視鏡治療を先行した症例、BRTOを先行した症例の成績を、ふりかえって検討することにより、今後胃静脈瘤破裂の患者さんがいらっしゃった場合の治療選択の参考になる可能性があります。			
8. 研究の目的	当院における胃静脈瘤破裂に対する内視鏡治療例とBRTO治療例を比較し、その成績や臨床学的な特徴を明らかにいたします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	2008年1月から2020年10月に当院で治療した胃静脈瘤破裂21症例の内視鏡画像データや血液検査データ、カルテ記録を収集し解析いたします。			
10. 個人情報の保護	公表する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また、本研究で取得した情報は本研究以外には使用しません。研究期間終了後も個人が特定されないように十分配慮いたします。			
11. 利益相反に関する状況	ありません。			
12. 連絡先	五十嵐 昌平(消化器内科、血液内科、膠原病内科)			
	電話	0172-39-5053	FAX	0172-39-5946